



<1928(昭和3)年6月4日は、軍閥の張作霖が日本の関東軍の陰謀で爆殺された日>
 張作霖(ちょうさくりん)とは、今から80年前の中国(中華民国)で、東北3省で実権を握っていた軍閥(私的軍事集団の軍人)。満州(東北部)を直接支配しようとしていた関東軍は、張が北京から奉天に帰る列車ごと爆破した。田中義一内閣は陸軍の調査で真相を知ったが公表せず、天皇にとがめられて総辞職した。現在でも国民の知らないところで、マスコミの協力の下、政治的な「陰謀」が行われているのかも!?

おかげさまで、映画『日本の青空』 上映会益金も配分されました!

ちょうど一年前の6月10日(土)、東京千駄ヶ谷の日本青年館で開催の「九条の会・全国交流集会」分科会で大澤豊監督から直接、映画『日本の青空』制作のお話をうかがいました。それから一年、映画制作から上映までのおおよその本会との関わりは<右表>のとおりです。

幸い試写会も上映会もまずまずの成功で、それなりの利益金も出て、上映実行委員会から「小高九条の会」と「はらまち九条の会」に配分されました。これもひとえに会員の皆様のご理解やご協力、お力添えの賜物と、事務局員一同心より感謝と御礼を申し上げる次第です。

〇『日本の青空』制作から上映まで〇

- 2006(平成18)年
- 2月18日 本会主催で、佐藤鶴雄氏講演会「鈴木安蔵と日本国憲法」。
 - 6月10日 東京の全国集会で大澤豊監督から映画制作の企画を聞く。
 - 6月13日 事務局で映画制作に協力することを決める。製作協力券を購入し、会員への販売開始。
 - 8月1日 大澤豊監督・小室皓充製作委員長など、小高九条の会へ。
 - 8月2日 大澤監督など映画製作スタッフ、南相馬市役所へ赴き渡辺一成市長を表敬訪問。
 - 11月3日 あきいち2006で市民に映画や鈴木安蔵の業績をPR。製作協力券など販売。
 - 11月23日 小高神社と相馬高校でロケ。女優藤谷美紀など来る。
 - 12月17日 福島市民会館で「日本国憲法と鈴木安蔵を語るつどい」。映画『日本の青空』を支援する福島県の会が発足。
- 2007(平成19)年
- 1月17日 南相馬市議会議員26名のうち16名が映画製作協力券を購入されました。
 - 2月17日 映画『日本の青空』上映南相馬実行委員会が発足。
 - 3月初旬 映画完成
 - 3月17日 小高区浮舟会館で試写会。招待者など220名が入場。
 - 4月21日 小高区浮舟会館で一般上映会。3回で850名が入場。
 - 4月27日 原町区南相馬市民文化会館(ゆめはっと)で一般上映会。夜1回で650名が入場。
 - 5月30日 映画上映南相馬実行委員会最終会を開催。活動経過、会計報告、利益金の分配。

～戦後、焼け跡から生まれた世界の宝
日本国憲法はこうして作られた!～

日本国憲法施行
60周年記念作品



もう一度小高で「日本の青空」上映会!

「忙しくて見れなかった」「原町は夜だけの開催で不親切だ」「協力券を買ったままなのに!」などの声も強く、小高九条の会では、もう一度小高で上映会を開催することになりました。「とにかく一人でも多く、特に若い人に見てほしい。郷土の偉人鈴木安蔵のことを知ってほしい」と話されています。上映時刻など詳細は未定ですが、「はらまち九条の会」でもお手伝いをしたいと相談しています。

**8月11日(土)小高・浮舟会館で
『日本の青空』上映会**



がんばれ小田実さん! (2007.6.5「朝日」より)

私たちの「九条の会」は3年前の2004年6月10日、井上ひさし、梅原猛、大江健三郎、奥平康弘、小田実、加藤周一、澤地久枝、鶴見俊輔、三木睦子の九名が発表した「九条の会アピール」から始まりました。その一人の小田実さん(小説家・評論家・75歳)が今、末期の胃ガンと闘っています。特に団塊の世代にとって、1961年の『何でも見てやろう』や、65年のベ平連(ベトナムに平和を!市民連合)等でカリスマ的な人物です。

・6月22日(金)午後7:00~8:20
 ・会場:サンライフ南相馬(原町高校跡地)

(1) A版 1992年5月30日第3種郵便物認可

松元ヒロさんとはこんなコメディアンですー!

難しいはずの憲法も 明るく 楽しい ロケで...

憲法施行60年

いま 言いたい

「ぼくはライオンで、風刺コ
 ントやパントマイムの合間
 に「憲法くん」を上演して
 います。「憲法くん」は十
 年前、またぼくが「ザ・ニ
 ュースペーパー」に在籍し
 ていたときに生まれまし
 た。憲法施行五十周年を記
 念した「憲法フェスティバ
 ル」でロケトをやることに
 なり、ぼくは一人芝居が得
 意なので大学の先生などの
 知恵も借りながら憲法を入
 格化してみました。」

舞台から問い

憲法って、お客さんとの問
 いかけの場から始めま
 す。「憲法くん」は、憲法で
 す。ぼくのライオン本気で変



コメディアン
松元 ヒロさん

まつもと・ひろ 1962年鹿児島県生
 まれ。コント集団「ザ・ニュースペー
 ー」の創立メンバーのひとりとして現在ソ
 ロ活動中。パントマイムを生かした時
 事コントで活躍し、皇室ネタにもとり
 くむ異色の芸人。埼玉県新産市在住。

こんにちは。ぼく憲法くん

「憲法九条を守る」とい
 う市民が集まった九条の会
 は、六千もある。ぼくは全
 国の集会にひっぱりたことな
 んですよ。もうガッポカッ
 ボク、奇席の人からは「松
 元ヒロは九条を食いものに
 している」といわれますが
 (笑い) 戦争を食いもの
 にするよりはいいでしょ」
 こういって、みんなおも
 しろがって聞いてくれま
 す。

お笑いには信を
 「九条を変えろと運動し
 ている市民団体が増えてい
 ることは聞いたことがないで
 すよね。九条を変えろとい
 っているのは、国民じゃな
 くて国、政府なんです。憲
 法九条は、日本の現実に合
 わないのでなく政府に合わ
 ないんですよ。みなさん、
 憲法に合わせて政府を変え
 るというのを忘れていま
 せんか」

お笑いには単なるパロディ
 ではなく、信念がないとた
 めたどマルセ太郎さん(故
 人)に教わりました。お笑
 いで庶民の思いを口にし
 て、みんなにおもしろく憲
 法を伝えるのがぼくの役割
 だと思っています。

文・写真 金子徹